



報道資料

平成 23 年 4 月 21 日
内閣官房情報セキュリティセンター (NISC)

情報セキュリティ政策会議第 25 回会合の開催について

—「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」の改定等—

本日、「情報セキュリティ政策会議」(議長:内閣官房長官)の第 25 回会合が持ち回り開催され、その概要は以下のとおり。

「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」の改定等

本日、「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」の改定等が決定された。

「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」(初版:平成 17 年 12 月情報セキュリティ政策会議決定、第 4 版:平成 21 年 2 月同会議決定)について改定等を行った。今般の主な改定点は以下のとおり。

- 全ての政府機関職員が、情報保全も含めた適切な情報セキュリティ対策を十分に理解して適切に実施できるようにするため、全体の構成を明確化
- クラウドコンピューティングの普及や Web サーバの Gumblar 攻撃への適切な対処等、新たな技術的な状況への対応

(詳細については別添資料参照)

【本件に関する問い合わせ先】

内閣官房情報セキュリティセンター (NISC)

情報セキュリティ政策会議について : 内閣参事官 高田、参事官補佐 伊貝

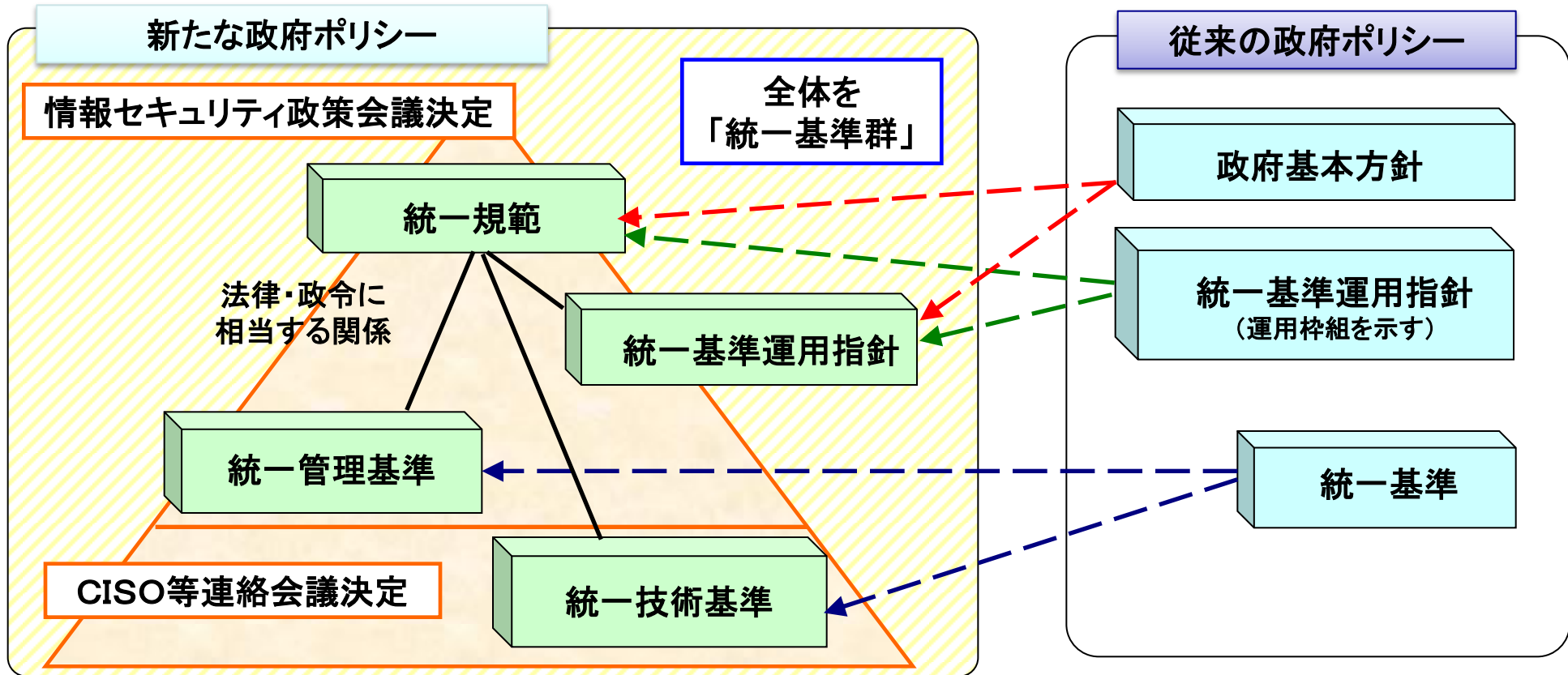
本改定について : 内閣参事官 木本、参事官補佐 戸田

電話 03-3581-3768 (センター代表)

※ 本会合の会議資料等は、内閣官房情報セキュリティセンターのホームページにおいて公表する。
(<http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/index.html#seisaku25>)

新たな政府統一基準群の構成について

別添資料



※統一技術基準の改定については、情報セキュリティ対策推進会議（CISO等連絡会議）において審議の上、決定

	文書	従来	新たな体制	決定機関
1	情報セキュリティ基本方針	政府基本方針	統一規範	政策会議
2	情報セキュリティマネジメントの指針	統一基準運用指針	統一基準運用指針	政策会議
3	情報セキュリティポリシー（基本編）	統一基準	統一管理基準	政策会議
4	情報セキュリティポリシー（技術編）	統一基準	統一技術基準	CISO等連絡会議

政府機関統一基準改定の概要

政府機関におけるクラウド技術の利用やウェブの改ざん・標的型メール攻撃など外部からの不正アクセスによる脅威への対応等の観点から、統一基準を改定

主な見直しの内容

A. 外的な環境の変化への対応

1. クラウド技術への対応

- * 海外のデータセンター等に情報を保存する場合の留意点
- * 対策の実施漏れが生じないよう管理責任範囲の明確化 等

2. 外部からの不正アクセスに係る対応

- * ウェブサービスに対する不正アクセスを防ぐための措置の追加
- * 電子メールにおける成りすまし防止措置の追加 等

3. 情報システムのセキュリティ強化に係る対応

- * ITセキュリティ評価認証を取得している製品の選択 等

B. 実務に則した見直し

1. 統一基準の全体構成の見直し

- * 統一管理基準(基本)と統一技術基準(技術)への分離

2. 教育・人材育成の充実

- * 役割に応じた教育内容の整備 等

見直しの目的及び効果

セキュリティに配慮した先進的技術の活用

新たな脅威に対応した対策の充実強化

技術等の変化に応じた柔軟かつ迅速な対応

情報セキュリティに関する理解の向上